

第15回 年次大会のご案内

日時 平成 29 年 7 月 15 日(土)～17 日(月・祝)

会場 石川県西田幾多郎記念哲学館 (〒929-1126 石川県かほく市内日角井1番地)

交通手段

会場となる西田哲学館は、金沢より 20km 北の「かほく市」にあります。その位置および交通手段は、西田哲学館ホームページをご参照ください。

なお、最寄り駅の宇野気駅から西田哲学館への交通手段は、徒歩(20分)かタクシー(5分)となります。開催期間の三日間は、下記のとおり時間にて送迎バス(無料)を用意いたします。時間が合いましたら、ご利用ください(バス発着所は、西田幾多郎の銅像の立っている宇野気駅・正面東口となります。席に限りがありますので、満席の際はご容赦ください)。

自家用車でご来館の方は、西田哲学館の駐車場(無料)をご利用いただけます。

	宇野気駅発 ⇒ 哲学館着	哲学館発 ⇒ 宇野気駅着
15 日 (土)	09:10 → 09:15 10:25 → 10:30 12:00 → 12:05 13:00 → 13:05	17:20 → 17:25
16 日 (日)	09:10 → 09:15 10:25 → 10:30 13:00 → 13:05	17:10 → 17:15 17:25 → 17:30
17 日 (月・祝)	09:10 → 09:15	14:30 → 14:35 14:45 → 14:50

発着時刻は、事情により前後することがあります。

宿泊

宿泊先は、会員の皆様ご自身で手配をお願いいたします。

昼食

会場周辺には飲食店が少ないため、ご希望の方にはお昼の日替わり弁当(お茶付:800円)を用意させていただきます。ご希望の方は、同封葉書の所定欄に ○ をご記入ください(代金は当日支払)。

懇親会

懇親会の開催を、15日(土)18時から「河北亭」(石川県かほく市高松ナ13番地/TEL 076-281-0013)にて予定しております。同封の葉書に参加・不参加をご記入ください(参加費:5,000円、当日支払)。哲学館よりバスで15分ほどの場所となりますので、下記の通り送迎バスを用意いたします。

哲学館発 ⇒ 河北亭着	河北亭発 ⇒ 高松駅着
17:20 → 17:35	20:05 → 20:10
17:45 → 18:00	20:15 → 20:20

高松駅 20:25 発(金沢駅 21:03 着)に接続しています。

※やまじゅう、なごみ亭行も別のバス(20:25 発)をご用意します。

非会員の大会参加

例年通り、非会員も参加費 500 円にて年次大会に両日ともに参加することができます。会員の皆さまのお知り合いで興味のある方がいらっしゃいましたら、お誘いあわせのうえぜひおこしください。また、その際には下記事務局まで事前にお申し込みをお願いいたします(参加費は当日支払)。年次大会に参加され、興味をもたれた方には、入会のご案内をお渡しいたします。

理事会

理事各位におかれましては、初日 15 日(土)の 12 時 45 分より理事会を開きますので、ご出席のほどよろしくお願い申し上げます。

シンポジウム要旨

16 日(日)のシンポジウム「西田哲学とフランス哲学」の要旨を、西田哲学会 HP(www.nishida-philosophy.org)に、7 月 1 日までに掲載しますので、ご覧ください。

平成 29 年 6 月 2 日 西田哲学会

西田哲学会事務局

(石川県西田幾多郎記念哲学館内)
〒929-1126 石川県かほく市内日角井 1
TEL: 076 (283) 6600, FAX: 076 (283) 6320
E-mail: info@nishida-philosophy.org
URL: www.nishida-philosophy.org

西田哲学会 第15回年次大会 プログラム

会場：石川県西田幾多郎記念哲学館（石川県かほく市 内日角井1）

平成29年7月15日（土）

10:40-12:35

○『善の研究』講読（入門講座）〔4F会議室〕

担当：松本直樹（同志社女子大学）、太田裕信（愛媛大学）

『善の研究』第2編第4章を読む ※各自、『善の研究』テキストをご用意ください。

○研究発表Ⅰ〔哲学ホール〕

【3名】（（ご発表25分+質疑10分）×3名+（休憩5分×2回））=115分

1) 高橋勝幸（南山宗教文化研究所）「中動態の文法について — 西田哲学理解の道筋」

司会：水野友晴（日独文化研究所）

2) 末村正代（関西大学）「鈴木大拙の名号観 — 一遍から妙好人へ」

司会：名和達宣（真宗大谷派教学研究部）

3) 山内翔太（京都大学）「西田哲学における情意とその表現 — フランススピリチュアリズムとの比較から」

司会：日高明（京都大学）

12:45-13:45 理事会〔4F会議室〕（理事・幹事のみ）

14:00-14:05 かほく市長挨拶〔哲学ホール〕

14:05-14:10 西田哲学会会長挨拶〔哲学ホール〕

14:10-17:10 講演会〔哲学ホール〕

司会：白井雅人（立正大学）

14:10-15:40 講演Ⅰ 浅見洋（石川県西田幾多郎記念哲学館）

ご講演60分+質疑30分

「現代看護学と西田哲学の接点 — 終末論的思惟」

15:40-17:10 講演Ⅱ 竹内整一（鎌倉女子大学）

ご講演60分+質疑30分

「哲学の理由 — 西田幾多郎・「かなしみ」の哲学」

18:00-20:00 懇親会〔河北亭〕

平成29年7月16日（日）

9:30-12:05 研究発表Ⅱ（2会場にて開催）

第1部会〔4F会議室〕

【3名】（（ご発表25分+質疑10分）×3名+（休憩5分×2回））=115分（9:30-11:25）

1) 服部圭祐（京都大学）

「京都学派における哲学の現代性 — 三木清の「人間学的存在論」と戸坂潤の「イデオロギー論」

司会：竹花洋佑（大谷大学）

2) 大角康（京都大学）「統一的直覚 — 純粹経験の彼方としてのその根柢」

司会：熊谷征一郎（京都大学）

3) 城阪真治（関西学院大学）「中期西田哲学における意志と行為の問題」

司会：松本直樹（同志社大学）

第2部会〔哲学ホール〕

【4名】（（ご発表25分+質疑10分）×4名+（休憩5分×3回））=155分（9:30-12:05）

1) 上野徳識（明治大学）「人間性とまこと — 初期西谷啓治における道徳と宗教の関係について」

司会：板橋勇仁（立正大学）

2) 森野雄介（大阪大学）「『自覚における直観と反省』における瞬間の身分」

司会：太田裕信（愛媛大学）

3) 内藤希（一橋大学）「田辺哲学における質料概念の形成 — 西田哲学における場所論との関係から」

司会：嶺秀樹（関西学院大学）

4) 佐野之人 (山口大学) 「何故西田は『善の研究』において道徳から宗教への移行を語らなかったのか」
司会：氣多雅子 (京都大学)

12:10-12:55 特別発表 [哲学ホール]

「《日本哲学》がなぜ可能なのか：西田幾多郎との《対話》より」
遊佐道子 (西ワシントン大学)
司会：大熊玄 (立教大学)

ご発表 40分+質疑 5分

13:45-14:15 総会 [哲学ホール]

林永強 (獨協大学)
「"Tetsugaku Companions to Japanese Philosophy"について」

14:20-17:00 シンポジウム「西田哲学とフランス哲学」 [哲学ホール]

(ご発表×2名)+休憩 10分+討議

司会：上原麻有子 (京都大学)

パネリスト：杉村靖彦 (京都大学)

「〈自覚〉する身体 — 西田のメヌ・ド・ビラン評価から見えてくるもの」

合田正人 (明治大学)

「西田幾多郎と「模倣」の問題 — タルドへの小さな言及の波紋」

平成 29 年 7 月 17 日 (月・祝)

国際哲学交流シンポジウム「西田哲学 — 間文化の視点で」 (Nishida's Thought and Intercultural Philosophy)

[哲学ホール/使用言語：ドイツ語、英語、日本語]

9:30-9:45 挨拶 コーディネート・司会 大橋良介 Prof. Dr. Ryosuke Ohashi

(日独文化研究所所長/西田哲学館名誉館長)

9:45-10:15 報告

アントニオ・フロレンティーノ Prof. Dr. Antonio Neto Florentino (ブラジル・カンピナス大学)
Die Rezeption der Philosophie der Kyoto Schule in Brasilien
「ブラジルにおける京都学派の哲学の受容」

10:15-12:30 発表

10:15-10:55 モニカ・キルロスカール＝シュタインバッハ Dr. Monika Kirloskar-Steinbach

(ドイツ・コンスタンツ大学)

Die Idee Interkultureller Philosophie: Was können wir von Nishida Kitarô lernen?

「間文化哲学の理念 — われわれは西田幾多郎から何を学ぶことができるか？」

10:55-11:10 休憩

11:10-11:50 マルチェッロ・ギラルディ Dr. Marcello Ghilardi

(イタリア・パドヴァ大学)

Traces of Interference: intercultural aspects in Nishida's Thought

「混信の痕跡 — 西田哲学の間文化的側面」

11:50-12:30 ゲオルク・シュテンガー Prof. Dr. Georg Stenger

(オーストリア・ウィーン大学)

"Von der Welt her denken" - Nishidas Relevanz für die Interkulturelle Philosophie und Phänomenologie

「世界から考える — 間文化哲学と現象学にとっての、西田の重要性」

12:30-13:15 昼休憩

13:15-14:15 討議

(※なお、今回の年次大会は、石川県西田幾多郎記念哲学館の「2017 国際哲学交流シンポジウム」との共催事業となります)